

2020年12月4日

パナソニックの小型コンバイナタイプHUDが スズキ株式会社の新型「ソリオ」「ソリオバンディット」に搭載

パナソニック株式会社 オートモーティブ社の小型コンバイナタイプHUD(Head Up Display)が、スズキ株式会社の小型乗用車、新型「ソリオ」「ソリオバンディット」(2020年12月4日発売)に搭載されました。



新型「ソリオ」



新型「ソリオバンディット」

(写真提供:スズキ株式会社)

HUDは、運転中のドライバーの前方視界に、車速などの情報を表示することで、視線移動や焦点調節を減らし、安全運転に貢献するシステムです。コンバイナタイプとは、半透明の小型パネル(コンバイナ)に情報を表示する方式のHUDです。フロントガラスに情報を投影するウインドシールド(WS)タイプと比べて、共通ユニットでの車両展開搭載が可能で、高価な特殊WSガラスも使用しないなど、汎用性に優れたシステムです。



新型「ソリオ」より



HUD 拡大図



HUD 本体

パナソニックは、既に2017年2月よりスズキ株式会社に業界初の軽自動車向けコンバイナタイプHUDを納入しており、この度、表示映像のカラー化とさらなる本体の小型・軽量化を実現しました。新製品の開発にあたっては、デジタルカメラの開発で培ったパナソニックの光学技術を生かしたフル自由曲面コンバイナ&曲面ミラー、高輝度PGU(Picture Generation Unit)を用いて、本体の小型化と低歪かつ明るく鮮明な画面を実現しました。

開発技術の概要:

(1)フル自由曲面コンバイナ&曲面ミラー

デジタルカメラの開発で培ったレンズ設計・レンズ成形技術を活用。高精度のフル自由曲面コンバイナ&曲面ミラーを開発しました。フル自由曲面コンバイナ&曲面ミラーの採用で光路をさらに短くするとともに、コンバイナの格納方式を改良したことで、小型・軽量化を実現。映像も低歪に。

(2)高輝度PGU

液晶ディスプレイの照明技術を応用した独自のHUD向けバックライト設計により、太陽光下やサングラス越しのような表示が見えにくい状況においても、ドライバーに鮮明な画像を提供します。

パナソニックは、コンバイナタイプHUDからAR-HUDまで、さまざまなお客様のニーズにお応えするHUDを今後も開発してまいります。HUDのリーディングカンパニーを目指して、安全・安心な快適ドライビング環境に貢献します。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。